

なきごえ



1980

1

大阪市
天王寺動物園協会

猿の話題

吉田平七郎



△今年(2023年)は60年目に1度の庚申で猿の大当り年である。かのえさるで何でも一事一願すればかなえてくれるという。あれもこれ

もと慾ふかく迷っていたら駄目で、わきみをしないこと。庚申堂には三猿がつきもので、見ざる聞かざる言わざるで知られているがそれは昔の事、見て聞いて大事なことだけ私は言いたいと実篤はいう。逆三猿時代になり、知りもしないでよく喋る人が多い。栗田の庚申堂には伝教大師の片手三猿があり、善いことは見ても悪いことは見ないと教えているのに世間では悪い事をしてもしない風をしている人が多く、訴訟をおこしてこの庚申堂へお詣りすると自分に有害な事を見ても見ない、聞いても聞かない、言っても言わないようになり、勝訴になることは厚かまし人達ではある。

△今年の年賀切手に取材された猿の郷土玩具は喜々といつて、キキと猿が鳴くのでつけられた名前である。喜びが重なるのでおめでたく喜ばれている。手作りのひねりで昔から住吉の喜々猿で知られてきたが、現在は堺の湊焼土人形で紹介されている。新春早々全国に郷土大阪で生れた喜々猿が登場してくれたので嬉しく改めて見直した。赤い顔と短い尾がニホンザルの特徴で二重に馬乗りしている。馬乗り(マウンティング)は順位決定によくやる習性で、群の平和を保つために必要な条件になっている。闘争ばかりで明け暮れている人間社会に猿がおもちで平和を維持する自然原則、秘訣をずばり喝破していることになる。郷土の誇り喜々猿のめでたい縁起をかつぐだけでなく、評価を高めてやりたいと思っている。

△切手の話をしたついでに灯台もと暗しで、箕面のなきごえ1月号もくじ

猿の話題	2
ミハヤブサお目見え、	3
動物園グラフ・動物園日記	4-5
北米の動物園を駆けめぐって	6-7
カリフォルニアアシカの餌付について	8-9・10
動物園ニュース	11

猿が切手に取材されていたことは福貴正三氏よりの拡大写真で展示し得たが、明治の森箕面国定公園は昭和48年発行の切手にあり、滝と紅葉の名勝地に猿が2匹遊んでいる。天然記念物のニホンザルが切手に取材されているのはこの1枚だけだという。

△ある日ある時、テレビの画面で宇治の猿丸神社にある猿の石像が出ていたので、はるばる出かけて取材させた。所は京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺で、猿丸大夫を祭神としているので猿丸の子孫一族が近年猿の石像を寄進したものというだけでは話にならない。ところが歌人が参詣するものと思ったら、昔からかみ瘤とりじいさんではないが神様になっていて、現在はかみ齋でお詣りする人が多いとか。思うに猿丸だから丸いものを取去ってくれるとこじつけたわけで、時代が移り変わっても相変わらず溺れる者は藁でもつかむのが人情で、心の安らぎが求められたら有難い話になる。

△猿に因んだ身近な神社では、大津の坂本にある日吉大社が有名で、日吉山王様の神使が神猿で豊臣秀吉の幼名が日吉丸、信長から猿とあだ名をつけられたが後に天下の英雄となる。神社から出世猿の木彫りが出ている。マシラからまきら真猿とかまきら魔去る、又はまきら勝るとかいつて縁起よく厄除開運、無病息災のお守りとして信仰されている。

△その近くに西教寺あり、本堂本尊様の前にかみ鉦の前にした木彫りの猿が安置されている。由来は明応2年11月20日早朝、比叡山の山徒が真盛上人を打たんとしておしかけたが、上人はすでに越前にのがれて不在であったが手白の猿が念仏の鉦を打ち続け、身代りとなって寺が護られたという。お寺の屋根には数々瓦焼の猿が見られる。

△飛鳥の猿石は人か猿かとよくきかれるが、高取山の一体は全く猿によく似た石人で吉備姫王墓域の猿石は四体あり、近年までお供物がしてあり、子供の無い人がお詣りに来て庚申さんと呼んでいたとか。石人を猿石にしてしまっていたという話。毛が3本足らないのが猿とよくいうが、如何に両者が接近しているかを物語っている。特に同じ日本に住みついた猿と日本人のかかわりをもっと広く深く話題にしてほしいものと願って協力した。

(おもちゃの動物園長)

表紙の写真説明

“ニホンザル”

世界の最北限に生息することで有名なニホンザル、赤いおしりと顔をひときわ目だたせて寒風の中も元気一杯です。

(撮影：宮下 実)



“ハヤブサ、お目見え”

昨年10月にハヤブサが保護されてきました。外傷はなかったものの、かなり衰弱しており心配されましたが、1ヶ月の検疫期間中に体力も回復し、精やかな顔付も戻ってきました。

(撮影：宮下 実)

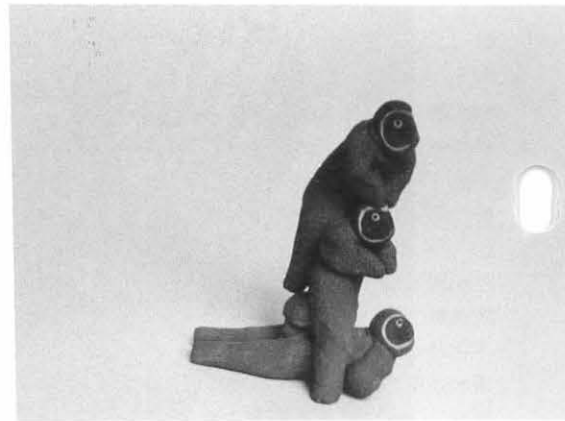
動物園グラフ

「猿のおもちゃ」

毎年恒例のエトにちなむおもちゃ展も今年は15回目を迎え、ますます盛況です。今年のエト、猿にちなむ「猿のおもちゃ展」の中から見どころをグラフで特集してみました。写真提供：おもちゃの動物園長 吉田平七郎氏



猿のとんだら (東京)



喜々猿 (大阪)



鹿猿 (宮島)



手長猿 (タイ)



孫悟空 (中国)



トウとヤシの猿 (フィリピン)



動物園のショウ (イギリス)



チンパンジーとオランウータン (ドイツ)

11・12月の動物園日記

- 11/15. 骨折のライオン、外傷を負ったバイサオリックスに投薬を続けています。サルアパートにいる16種のサルの検便を始めました。
17. 去年生まれのカリフォルニアアシカのジョニーも餌付けに成功したので、マリーに引き続き池に放飼してやりました。
19. 今年フ化したベニジュケイが1羽、頭部打撲で死亡しました。

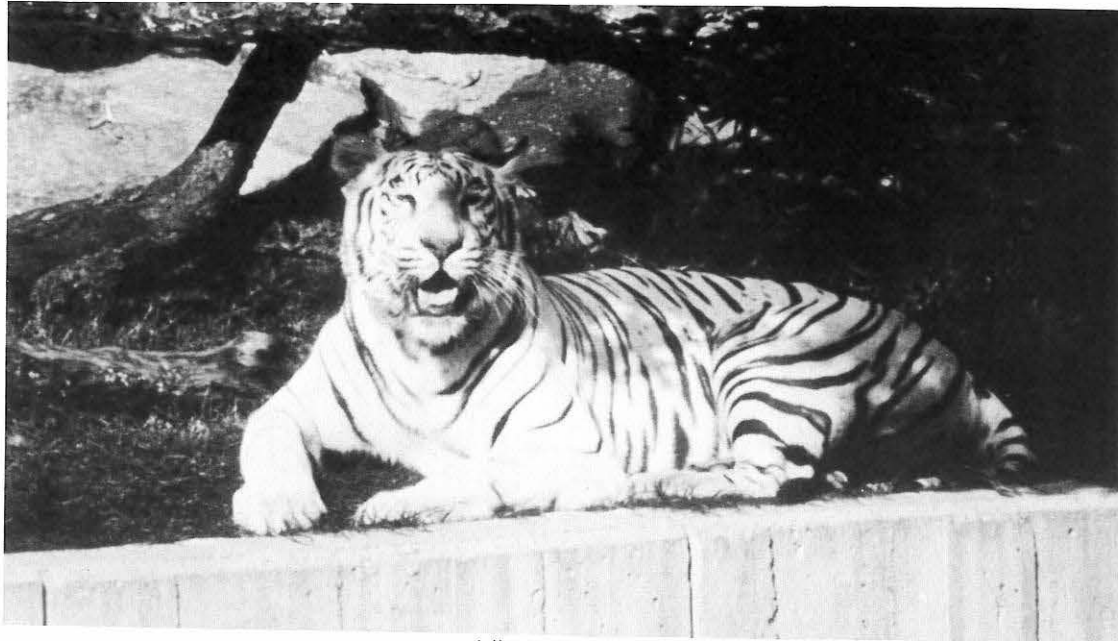
20. 今年フ化したバン5羽を栗林動物園へプレゼントしました。
21. 園内のすべてのキジにニューカッスルの生ワクチンを飲水投与しました。
22. トラが4頭の赤ちゃんを出産しました。
24. シロテテナガザルの仔が寒さのため衰弱しているのを発見したため、早速入院させて治療しました。
25. ジャッカルが3頭出産しました。関節炎のハイロカンガルーに投薬を続けています。

27. ハイロカンガルーの関節炎がまた悪化して腫脹してきたので、手術をして浸出液を排液しました。サルアパートのサル10種の駆虫を行ないました。
29. トラのメス1頭、ジャングルキャットのオス1頭が出園しました。
- 12/1. ホッキョクグマ1頭が、下痢をし食欲がないので、投薬をしました。
4. 骨折したライオンの3度目の整復術を行ないました。

5. トカラヤギの赤ちゃんが誕生しました。
9. タヌキを1頭保護しました。
12. メンヨウの仔3頭を断尾しました。
15. ホッキョクグマのチビが下痢をしたので投薬しました。
16. マントヒビが出産しました。オグロワラビーの左耳根部が化膿してきたので治療をしています。

北米の動物園をかけめぐって ③

③国立ワシントン動物園



ワシントン名物、ホワイトタイガー

§ ワシントン動物園へ

8月13日、迷いに迷ったメキシコシティを立ち、グラス経由でワシントン着。遅かったので動物園の前まで行って場所を確認し、ダウンタウンのホテルに泊りました。

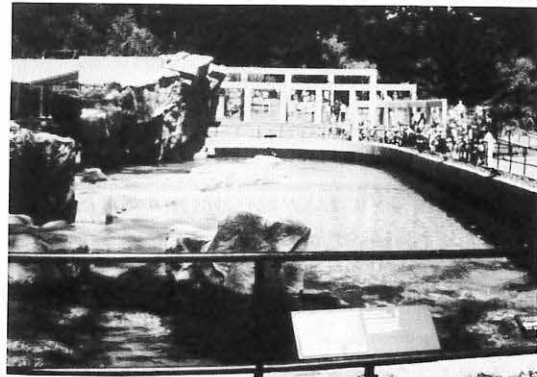
翌14日、国立ワシントン動物園へ。入場無料。ここはとにかく、アメリカ唯一の国立動物園ですから。事務所に直行。名園長として名高いシオドア・リード氏にお会いしたかったのですが外出とかで会えませんでした。しかし、広報担当のマイケル・モーガンさんが園内を案内してくれることになりました。

§ 動物病院

モーガンさんはまず動物病院へ連れて行ってくれました。事務所から病院への道はうっそうと繁った森の中。まるで山の中を行くようです。病院ではブッシュ先生にお会いしました。病院は平家建てですが、とても広く、4つのセクションに別れています。あるセクションは手術室、薬室、レントゲン室といった診療関係の部屋が集まり、次のセクションは血液検査や細菌検査などの検査関係の部屋が集まるといった具合です。検査室は映画館のように明るさを自由に調節できるようになっています。簡単なことですが新着の動物を早く落ち着かせるための細か

い心使いです。

解剖室は病院から少し離れて建っています。あまり広くない建物ですが、天井にはホイストのレールが設置されていて、重い動物でも簡単に搬入し、解剖ができるようになっています。また冷凍庫は8畳程の広さですが高さが4m近くもあり、大量に死体や臓器をストックできそうです。その他、スプラッシャーやディスプレイの付いた解剖台など使い易そうな器具類に大変うらやましく思いました。また、



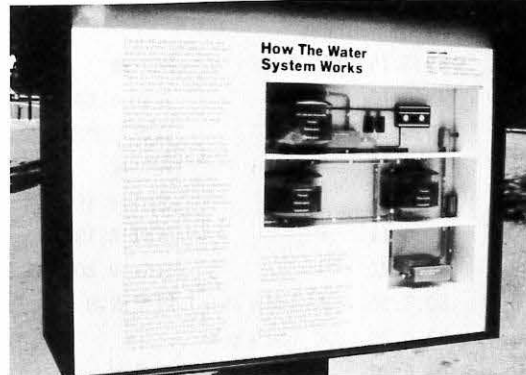
水が真青に透き通ったアシカプール

ブッシュ先生との話しの中で、ワシントン動物園で使っている避妊薬の話が出てきました。一種のホルモン剤で、メスの頸部下皮に包埋しておく3年位そのメスには発情が来ず、つまり交尾、出産しない

そうです。実際にはライオンで使っていて良好な結果を得ているそうです。ライオンのように生産過剰気味の動物には日本でも早くこのような処置を検討しなければならないでしょう。

§ 水と緑の動物園

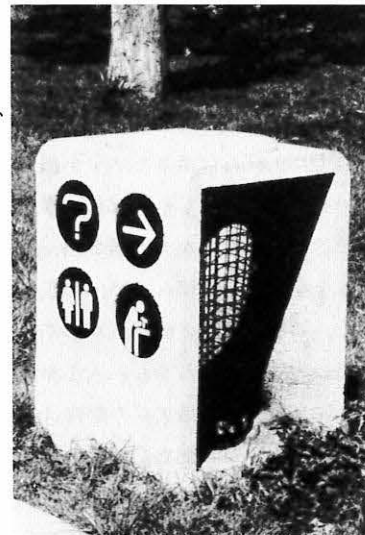
モーガンさんは電気自動車に我々3人を乗せて、



アシカプールの浄化装置を説明したパネル

先ずカリフォルニアアシカのところへ連れて行ってくれました。プールの水は真青に透き通って大変きれいです。底も汚れてなくて、あまりきれいなすぎるので、「どうやってこんなにきれいにプールを掃除するのですか。」と、聞いてみると、モーガンさんはニヤッと笑って、指差しました。差された方向には説明パネルがあって、ポンプや貯水タンクの模型が置かれていま

す。近付いて読んでみると、どうやらこのプールの水は浄化装置できれいに保たれているようです。モーガンさんによると地下3階まで作られたこの大規模な浄化装置で、アシ



案内板を兼ねたシャレたゴミ箱

カのプールと隣のハイイロアザラシのプールの両方の水を濾過し消毒して循環させているそうです。2つのプール、合計22,000トンの水が7時間と35分で総て入れ換るそうです。しかもPHを常に7.5に保

ちながら。総工費12億円。親方日の丸ならぬ、親方アメリカならではの感じでした。



珍鳥ハジロモリガモ

オオカミ舎、ビーヴァー舎を見た後、モーガンさんはホワイトタイガー舎へ連れて行ってくれました。ワシントン名物のホワイトタイガーは1976年に新築された広い放飼場で優雅に寝そべっていました。この水濠の水も大変きれいです。アメリカ人も縁起をかつぐのでしょうか、濠の底にはコインが無数に投げ込まれていました。定期的に回収するそうですが、大変な顔になるそうです。



リンリンとシンシンに送られてきた子供達からの手紙

40年も飼われていて甲長が1mを超すアメリカスッポンに驚いたり、人気者のジャイアントパンダ、リンリンとシンシンと対面したり、とても珍しいハジロモリガモを撮影したりで、アツという間に5時を過ぎてしまいました。外出から戻られたリード園長にお会いして、お土産までいただき、最後にもう一度、ホワイトタイガーへ。夕方涼しくなったせいか、今度はようやく起き上ってポーズをとってくれました。

5時30分。水と緑が印象的だった動物園にお別れる時間になりました。

(長瀬 健二郎：飼育課・獣医師)

カリフォルニアアシカの餌付について

§ はじめに

アシカはカリフォルニア沿岸、ガラパゴス諸島、それに日本海に分布する3亜種に分けられますが、日本海に分布するものは最近、絶滅したものと思われれます。当園に収容しているのは、カリフォルニア沿岸に生息するカリフォルニアアシカ（以下、アシカと略す）で、現在9頭飼育しています。

自然界では色々な動物達は生きる為に極く自然に餌の獲り方や餌の種類などを覚えます。しかし、動物園などで飼育されている一部の動物達は飼育係が親となり、餌の食べ方を覚えさせなくては行けないものがあります。そのひとつがアシカです。

アシカの餌付けは他園でも非常に苦勞の要る仕事とされ、当園でも今まで幾度となく餌付けを試みてきましたが、過去1例しか成功していません。ところが、今回今までの方法を変え、活きたアジを用いて餌付けをしたところ良い結果を得ました。過去4例行って3例失敗した原因は、いずれも動物園で通常与えている冷凍アジ（冷凍アジを解凍したもの）に慣れず、最後まで食べてくれなかったことにあるので、今回は初の試みとして活きたアジ（実際に海水中で生きて動き回っているアジ）を用いたわけ

§ 親の略歴及び近年の繁殖状況

現在、当園で飼育しているアシカは昭和45年4月14日に入園したメス2頭、昭和46年6月30日入園のメス2頭、それに昭和51年7月3日入園のオス1頭



左手前 ジョニー、左後 マリー

の計5頭の親と一昨年と昨年に生まれた4頭の仔の合計10頭です。また近年の繁殖並びに成育状況は(表1)のとおりです。

表1 近年の繁殖並びに成育状況

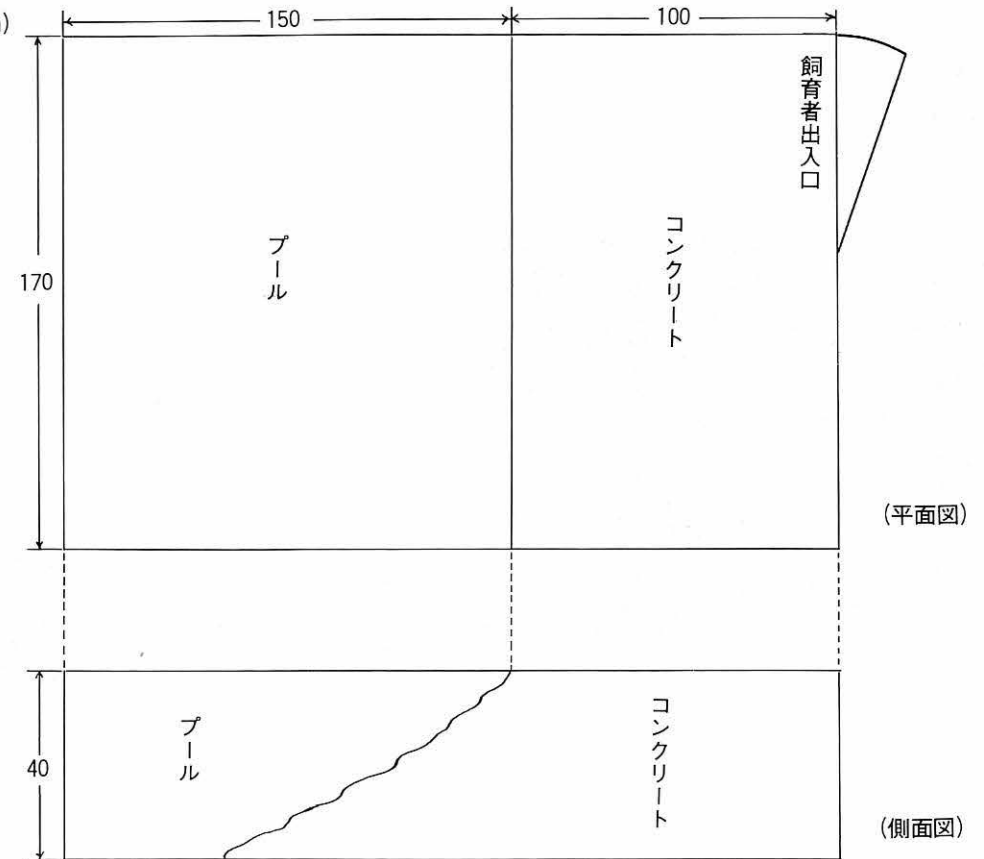
番号	生年月日	性別	成育状況
1	S49.5.15	♀	死産
2	49.6.15	♀	S49.7.5死亡
3	49.6.15	♀	成育して出園
4	49.6.26	♀	死産
5	50.6.9	♀	S51.6.19死亡
6	50.6.14	♀	S51.9.13 ♫
7	50.6.22	♀	S51.9.20 ♫
8	53.5.30	♂ (ジョニー)	餌付成功
9	53.6.20	♀ (マリー)	♫
10	54.5.22	♂	哺乳中
11	54.6.10	♀	♫

§ 餌付け方法

今回餌付けを行ったのは一昨年生まれの仔2頭で、アシカ舎プールから離れた南園詰所の横に小さなプール(図1)を作り、餌付けを開始することになったのですが、その前に1つ大きな問題がありました。それはエサにする活きたアジの確保です。大阪市内の水産会社をいろいろ捜したところ、比花区の方に1軒だけ活きたアジを扱っている会社が幸いにも見つかりました。毎日、購入にトラックを走らせるわけにもいかず、週2回、トラックの荷台に大きなポリ容器を積んで15~20匹ほど買いに行きました。3日間ほどアジを生かしておかねばならないので、大型水槽を入手し、人工海水で活アジを飼うことにしました。活アジの飼育は大変難しいとかで、うまく飼えるか心配でしたが、実際に飼ってみると1週間は生き続けてくれ、一安心しました。

9月26日。まず一昨年の6月20日に生まれたメス(愛称マリー)をアシカのプールから特設プールに移し餌付けを始めました。この日マリーはやはり少々興奮気味でしたので、落ち着かせ新しいプールに慣れさせるため、餌も与えず1日放置しました。

図1 (単位: cm)



9月27日。ドジョウ、金魚、冷凍アジを少し与えてみました。生きたドジョウや金魚には興味を示しますが食べる気配はありません。

9月28日。糸の先に冷凍アジをつけ動かしながら鼻先へ持って行くと食いつきましたが、すぐに放しました。これは食べようとしたのではなくうるさいので威嚇してきたという感じです。

9月29日。金魚を少し与えてみました。しかし、今度は知らん顔をしています。そこでマリーの頭にプールの水をかけてやり、水の中へ入るように誘いました。そうすると木中へ頭を突っ込み金魚を追いかけて遊び始めました。が、そのうち、アツという間もなく、食べてしまいました。続いて活アジを1匹入れてやると直ぐに追いかけて捕まえ、食べてしまいました。その後、冷凍アジ5匹と活アジ4匹を入れておいたところ、活アジは食べてしまいましたが、冷凍アジは食べずに残っていました。

9月30日。朝、プールの水が茶色に変色し、底にはヘドロのようなものが薄くたまっていました。これはマリーの便が水に溶け込んだものと思われる。水溜りの中で死んだ活アジを丸のまま、3切れに切ったものを入れてやりましたが、死んだものはやはり食べません。生きたものはすぐに食べてしまうのですが……。

この日初めて体重を計ったところ、25kgありました。またマリーはプールの周りに張ってある金網を少しよじ登って、背泳ぎのスタートのように迎向けにプールへ飛び込むことを覚え、日が一日、何度も何度も繰り返します。この事はプールに慣れて遊ぶことを覚えたようにも思われますが、広いアシカプールから狭いプールへ移された結果ストレスが貯ってこのような行動が現れたのかも知れません。

10月1日。冷凍アジと活アジを与えましたが、やはり活アジしか食べません。マリーは昨日から始め

た飛び込みを頻りに繰り返しています。

10月5日。活アジ3匹を与えましたが1匹ずつ形を変えてみました。つまり1匹は丸ごと、1匹は尾を切り落とし、そして1匹は半分に切って、という具合です。与えてみるとどれもみな、すぐに食べてしまいました。



10月6日。活アジ2匹と冷凍アジ1匹を与えました。活アジの1匹は丸ごと、もう1匹は半分に切り、また冷凍アジも半分に切って混ぜて与えました。しかし、活アジは食べたものの、冷凍アジはやはり食べません。

10月9日。この日から冷凍ものでない、氷詰めの新鮮なアジ（以下生アジと記す）が入手できるようになり、活アジと一緒に切り身にして与えた所、活アジはペロリと食べ、生アジの方も頭のついている部分だけを残し、あとは食べてしまいました。この日の夕方から生アジを頭の所を取ったもの、尾を取ったものなど、色々な切り身にして与えていったところ、16匹目にして初めて丸ごとの生アジを食べてくれました。

10月10日。生アジ3匹と冷凍アジ3匹を与えた所、生アジはすべて食べてくれましたが、やはり冷凍アジは食べません。

10月11日。生アジと冷凍アジを色々な切り身にして混ぜ与えた所、冷凍アジを初めて食べてくれました。

10月12日。冷凍アジの少し軟くなったものでも、くわえては吐き出し、又くわえるということを数回繰り返していましたが、最後には食べてくれました。

マリーの餌付け成功を参考に、続いてオスのジョ

ニーも同様に活アジを用いて餌付けを試みたところ、マリーが冷凍アジを食べるのに22日もかかったのに、ジョニーの方は10日で食べるようになりました。これもマリーの例から活アジ→生アジ→冷凍アジという過程を我々が計画的にスムーズに行った結果とします。

今回の餌付け成功の要因は生アジを用いたこと、母親の姿が見えない離れた場所にプールを設けたこと、この二点があげられると思います。過去の例では入手しやすいドジョウや金魚で餌付けを行ったものの、本来の餌である冷凍アジまで食べるところまではいかなかっただけに、活アジの効果は大きなものです。



§ おわりに

マリーもジョニーも隔離特設プールでの餌付け成功後、母親のいる仲間のプールに戻しました。マリーは大きな大人のアシカに負けじと与えられる餌に食いついていきますが、ジョニーは気が弱いのか、餌食い競争には常に遅れをとるため、しばらくジョニーだけ別に餌をやらねばならないほどでした。しかし昨年末にやっと、群にまじって餌を食べれるようになってきました。

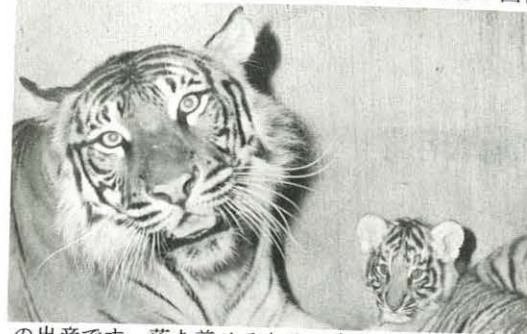
この2頭の成功例をもとに今年も昨年生まれの2頭の餌付けを成功させたいものです。

(飼育課：柴田 総、東 政宏)

動物園ニュース

§ トラ出産

11月22日、トラが出産しました。母トラは7回目



の出産です。落ち着せるため、室内を真暗にしていますので、様子がよく判らないのですが、声から判断すると4頭の仔はとも元気そうです。

§ ジャッカル出産

11月25日、ジャッカルが3頭の仔を出産しました。この母親は3度目の出産ですが、過去2回とも成育に失敗していますので、母親を落ち着かせる為、寝室内を真暗にし、様子を見ています。

§ トカラヤギ出産

12月5日、トカラヤギのダイチャン、フーチャン夫妻にメスの赤ん坊ができました。2頭にとっては今年の5月5日に生まれた双子に次いで3頭目の子

§ クリスマスパーティー

クリスマスを前にした12月22日、淀川区のめぐみ幼稚園の園児8名を招いて、オランウータンのサッキチャンと一足早いクリスマスパーティーを開きました。みんなでクリスマスの歌を歌ったり、クリスマスケーキを食べたりのとても楽しいパーティーでした。

§ 月例飼育研究会開催

11月23日、月例の飼育研究会が開かれました。今回の議題は11月7・8日に広島の安佐動物公園で開催された「第27回、獣医並びに飼育技術者研究会」の発表内容でした。本園から出席した中川主査、農本係員、長瀬獣医の3名が報告者となって、当日、報告のあった34題の発表文についての概要報告がありました。

§ ボランティアーズの夜の動物園見学会

12月のボランティアーズの例会は夜の動物園見学会でした。12月2日、出席したボランティアはいつもの例会よりもかなり多い35名。事務所前から5時



くらしを彩るショッピング



近鉄百貨店

アベノ店 (06) 624-1111・上本町店 (06) 779-1231
東京近鉄 (0422) 21-3331

・近鉄百貨店グループ

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

た飛び込みを頻りに繰り返しています。

10月5日。活アジ3匹を与えましたが1匹ずつ形を変えてみました。つまり1匹は丸ごと、1匹は尾を切り落とし、そして1匹は半分に切って、という具合です。与えてみるとどれもみな、すぐに食べてしまいました。



10月6日。活アジ2匹と冷凍アジ1匹を与えました。活アジの1匹は丸ごと、もう1匹は半分に切り、また冷凍アジも半分に切って混ぜて与えまし

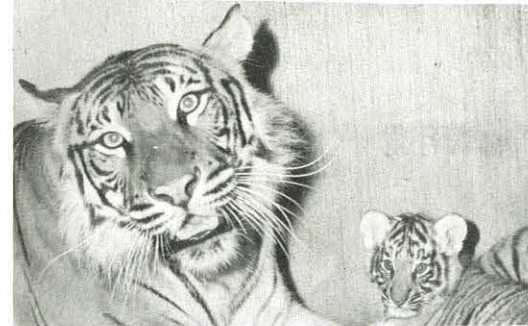
ニも同様に活アジを用いて餌付けを試みたところ、マリーが冷凍アジを食べるのに22日もかかったのに、ジョニーの方は10日で食べるようになりました。これもマリーの例から活アジ→生アジ→冷凍アジという過程を我々が計画的にスムーズに行った結果と思います。

今回の餌付け成功の要因は生アジを用いたこと、母親の姿が見えない離れた場所にプールを設けたこと、この二点があげられると思います。過去の例では入手しやすいドジョウや金魚で餌付けを行ったものの、本来の餌である冷凍アジまで食べるところまではいかなかっただけに、活アジの効果は大きなものです。



§ トラ出産

11月22日、トラが出産しました。母トラは7回目



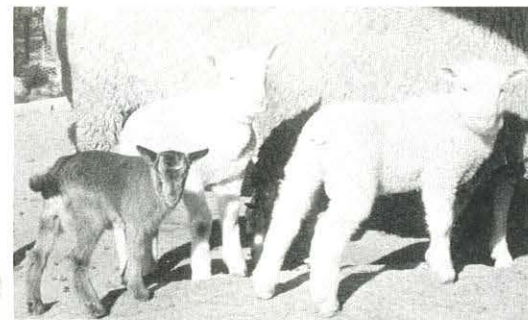
の出産です。落ち着せるため、室内を真暗にしていますので、様子がよく判らないのですが、声から判断すると4頭の子はとても元気そうです。

§ ジャッカル出産

11月25日、ジャッカルが3頭の子を出産しました。この母親は3度目の出産ですが、過去2回とも成育に失敗していますので、母親を落ち着かせる為、寝室内を真暗にし、様子を見ています。

§ トカラヤギ出産

12月5日、トカラヤギのダイチャン、フーチャン夫妻にメスの赤ん坊ができました。2頭にとっては今年の5月5日に生まれた双子に次いで3頭目の子供です。前回はオスとメスで、オスの仔の体色



は母親そっくりの黒色、メスの仔は父親そっくりの茶色でしたが、今回のメスの仔はちょうど両親の色の中間の茶色っぽい灰色でした。とても元気な子供で、11月17日に生まれた双子のメンヨウと毎日しゃぎまわっています。



§ クリスマスパーティー

クリスマスをした12月22日、淀川区のめぐみ幼稚園の園児8名を招いて、オランウータンのサツキチャンと一足早いクリスマスパーティーを開きました。みんなでクリスマスの歌を歌ったり、クリスマスケーキを食べたりのとても楽しいパーティーでした。

§ 月例飼育研究会開催

11月23日、月例の飼育研究会が開かれました。今回の議題は11月7・8日に広島のア佐動物公園で開催された「第27回、獣医並びに飼育技術者研究会」の発表内容でした。本園から出席した中川主査、農本係員、長瀬獣医の3名が報告者となって、当日、報告のあった34題の発表文についての概要報告がありました。

§ ボランティアーズの夜の動物園見学会

12月のボランティアーズの例会は夜の動物園見学会でした。12月2日、出席したボランティアはいつもの例会よりもかなり多い35名。事務所前から5時



15分出發しました。昼間いつも見なれている動物の姿とかなり違う姿に一同ビックリ。特に昼間は大体寝ていることの多い小獣類などが走り回っている様子に皆、立止って熱心に観察していました。

§ 猿のおもちゃ展

毎年エトにちなむ、おもちゃ展を開いていますが、今年のエトのサルにちなみ、「猿のおもちゃ展」を北園展示館で開催しています。日本の猿、167点、外国15ヶ国、56点の猿に関するおもちゃと猿の資料140点が展示されています。期間は1月2日～1月31日までです。

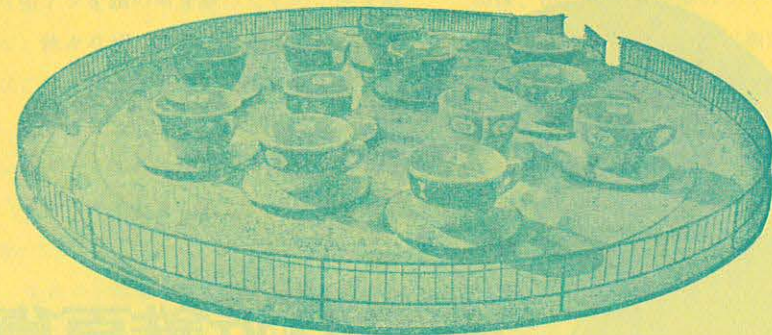
※休園日のお知らせ※

毎月第3月曜日は休園日です。4月までの休園日は下記の通りです。

1月21日、2月18日、3月18日、4月21日。

開園時間は9時半から4時半までで、4時に切符売止めになります。

遊園施設委託経営・製作・販売



久竹娯楽株式会社

本社工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

なきごえ 昭和55年 1月15日発行(毎月1回15日発行)

編集／大阪市天王寺動物園

発行人／大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所／株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

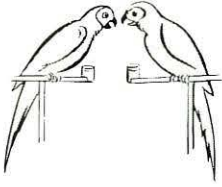
第16巻第1号(通巻173号)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

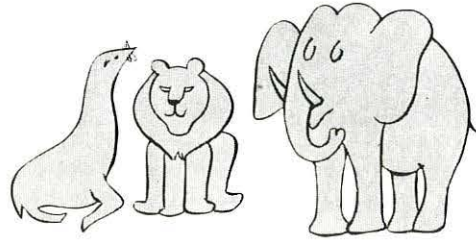
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130c.c.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員 〈板野 健一・前木 妙子・大野 尊信・榊原 安昭・樽本 勲・土井 良彦・高橋 真三・農本 武志〉
石島 宏胤・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・三浦 正明・葭谷 文彦・仲谷 登